

# お互いを信頼し、認め合うことのできる 道徳的心情を育てる授業の工夫

～意見の交流を基にした役割演技を通して～

特別研修員 道徳 田村嘉崇(小学校教諭)

## 児童の実態

- ・クラスでの人間関係が固定化している。
- ・仲良くすることはできるが、個々になると相手を批判してしまう。



### 授業実践 「陽子とひとみ」【学研】 小学校6年生 B-10友情・信頼

概略：運動会を間近に控え、徒競走の練習に取り組む二人。足の速い陽子に教わりながら練習をするが、ある日の体育の時間にひとみが陽子に勝ってしまう。周りは称賛するが、ひとみは複雑な気持ちでいる。

## 手立て1：登場人物の心情等についての意見の交流

- ・多様な意見に触れられるようにする。
- ・他者の意見を聞いたり、比較したりできるようにすることで、自分の考えをさらに深めていく。

登場人物の相手を思いやる様子について意見の交流をする。

陽子さんがみんなから好かれているのは、明るい性格もあるけれど、誰に対しても優しく接することができるし、困っている人をすぐに助けてくれるからじゃないかな？



私は陽子さんのいいところは明るいところだと思ったけど、〇〇さんの意見を聞いたら、誰に対しても優しいからということもあるって分かったよ。

## 手立て2：意見の交流を基にした役割演技

- ・意見の交流から出された登場人物のよさを生かした演技を行うことで、道徳的価値に対する共感的理解を高め、ねらいに迫る。
- ・登場人物の気持ちの揺れや葛藤などを感じ取らせ、相手の立場に立って考えられるようにする。

意見の交流をもとに登場人物の行動をグループで話し合う。

役割演技

そうだね。変に気をつかうよりも向こうも気持ちも楽になるかもしれないね。



二人とも気まづくなっていると思うから、あえていつも通りにした方がいいんじゃないかな？

陽子さんのおかげで速くなったよ。今日も二人で練習頑張ろう。

そうだね。私も負けないように頑張らなくちゃ！



これからは友達の気持ちをよく考えて、一緒に話し合いながら行動していきたいな。

今までは〇〇さんに話しかけづらかったけど、話しやすくなったな。

## お互いを信頼し、認め合うことのできる児童

### 成果

- ・意見の交流によって、自分とは異なる様々な意見や考えに触れることで、相手のことを認めたり、相手の気持ちを考えたりすることができるようになった。
- ・役割演技では、意見の交流で出された登場人物それぞれよさを生かした演技を行うことができ、今後の日常生活の中で問題が発生した時に、どのような言動をとれば良いのか考えさせることができた。

### 課題

- ・道徳的価値の自覚を深める役割演技を行うためには、個人の考えを持つ時間を十分に確保し、意見の交流の中で多様な意見を出し合えるようにする必要がある。
- ・役割演技を行う際には、児童の実際の生活で起こりうるような場面を取り上げ、登場人物の感じ方や考え方を想像し共感できるような資料提示の仕方を工夫していく必要がある。